

教育目標 やさしく かしこく たくましく



畑小
だより

佐渡市立畑野小学校
学校だより
令和元年6月3日発行
校長 古塩 正明
TEL.0259-66-2019

佐渡のためにできること

校長 古塩 正明

先日、佐渡市の学校代表として、「佐渡市子ども子育て支援会議」という会議に出席させていただきました。その中で配られた佐渡の人口についての資料を見て、やはりちょっとさびしい感じがしました。

その資料によると、平成2年度から、佐渡の人口は約5,000人以上減少し、一方で、65歳以上の人口はほぼ変わらないということ、そしてなんといてもさびしいのは14歳以下の子どもの数は何と1,000人近くも減少しているということでした。

「どうしてそんなに若者と子どもの数が減ってしまうのだろうか？」と考えれば考えるほど、いろんな理由が重なって、はっきり特定できないのが現状です。

佐渡は離島だから過疎化が進むのは当たり前、自然減、社会減の現象には逆らえないからしょうがない、と開き直れば楽です。けれども今までの学校教育が原因でそうってしまったのかと思うと、どうしても“自責の念”にかられてしまいます。特に30年も前から佐渡市で仕事をしてきた私にとっては、「もしかして自分もその原因の一つ？」と、責任を感じざるを得ない状況です。

もう一度、この傾向に歯止めをかけるために、学校として何をしなければならないか、考え直さなければなりません。佐渡市教育振興基本計画の基本方針である「佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくり」という指針に再度立ち返り、そのような子どもたちの姿をイメージした教育活動を進めていかなければなりません。

道徳の授業で「伝統文化」「郷土愛」「自然愛護」「公共心」「家族愛」といった内容を重視したり、総合的な学習の時間で「ふるさと佐渡の良さ」を他地域へ発信したりする活動もその方法の一つです。つまり、各学年の地域学習、佐渡学などを更に充実させ、子どもたちの心を醸成していくことが肝要になります。

そして子どもたち自身に、佐渡の未来について夢をもち、よりよい生き方のビジョンをもってもらうこと、私たち大人はその夢の実現のために何をすべきなのか？を日々考えていくことが大切ではないかと感じています。

先日の運動会では、みんな元気よく一生懸命競技や応援に頑張っていました。その子どもたちの姿を見ながら「将来みんなずっと佐渡に残ってくればいいのになあ。」「この運動会をずっと忘れないでまた学校を支えてくれないかなあ。」などと、ふと、思いながら見ていました。

そのうち私もこのままいけば、高齢者人口を増やしてしまうことになります。何とかして「若者が大勢集う佐渡」、「子どもたちが海や山で遊び回る佐渡」、「お年寄りも元気な佐渡」、「世界から多くの人が訪れる佐渡」をイメージして、できることから少しずつ取り組んでいきたいです。

頑張った 令和初 川中島の戦い 畑っ子大運動会

ご協力に感謝いたします。

例年になく暑い日になりましたが、子どもたちは暑さに負けず、最後まで競技に、応援に、全力で頑張りました。さすが「たくましい畑っ子」です。実行委員長6年市橋雫さんのリーダーシップのもと、いろいろなアイディアと工夫が見られた運動会でした。

暑い中、応援や競技のご協力をくださいました保護者の皆様、地域の皆様、大変ありがとうございました。また、応援席前のテント設営についてご助言、ご協力いただきました本間PTA会長様前日準備と当日の会場設営にご協力くださいましたPTA役員の皆様、後片付けの手伝いをしてくださいました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



実行委員長あいさつ



応援合戦



開会式聖火リレー



全校佐渡おけさ



徒 競 走



親子競技（中学年）



全校リレー（中学年）



全校種目 紅白玉入れ



応援団長あいさつ